

日本共産党県議会議員

見える
身近な
みんなの県政を



みわ由美 ホット通信

再刊第2号 2008年2月20日

日本共産党みわ由美事務所
Tel:349-1544 Fax:047-349-2293

〒270-2252 松戸市千駄堀 1810-2
<http://www.jcp-chibakengikai.jp/>

原油高 対策を早く!



原油価格高騰で緊急の申し入れをするみわ県議ら

原油価格高騰で緊急の申し入れをするみわ県議ら

農家・業者支援 灯油代助成……

千葉県に 党県議団

日本共産党千葉
県委員会と党県議
団は1月24日、堂
本知事あてに原油
高騰に対する緊急

対策を申し入れま
した。

内容は次の通りで
す。▽原油価格高騰
の実態調査▽ハウス
栽培農家・中小の漁
業・運送業者などへ
の財政的支援▽生活
困窮者・高齢者・障
害者・母子家庭など
への灯油代助成▽福
祉施設や学校などが
被害を受けないよう
な十分な措置の実施
▽便乗値上げの監視
強化・灯油量の確保・
投機マネー規制の国
際的協調などでの国
に対する要請。
申し入れのなかで

参加者は、
中学校では
ストーブの
使用が制限
され、雪が
降った日に
初めて使用
が認められたなど、子
どもたちの学校生活に
深刻な影響が出ている
ことを紹介。また若い
農業後継者が夢を抱い
て続けてきたシクラメ
ン栽培を断念せざるを
えないなどの実態を伝
えました。申し入れに
は、加藤英雄・小倉忠
平・斎藤和子各衆院比
例予定候補も参加しま
した。



花栽培の夢が消えそう……

学校が寒くて、子どもらが震えています。

夢 あきらめないで コーナー

劣悪労働からの脱却めざして、熱心に
語りあう参加者。



浅尾大輔さんのお話(要旨)

ケーキ職人が半年間休みなし
で午前3時まで働かされ、深夜勤
務のコンビニ店員(大学卒)が時
給950円で働かされている。派遣
労働者の場合、仕事があるだけ
マシで、メンタルな病気を抱えて
いる人も多い。こんな状況に不安
をみんな感じている。

「生存・誇り・未来」の三つの破
壊を乗り越える新しい連帯が今こ
そ必要だ。「カネ」が中心の生き方
から、想像力・経験がものをいう生き方へ
の転換、「僕たちは悪くない」と堂々と反
論できる人間への成長が肝要だ。

従来型の社内労組の活動とは違った、
参加型の団体交渉でも、ユニオン(労組)
がバックに入ることで大きなたたかいを
一人でもできる。「一人はみんなのために、
みんなは一人のために」と自分だけでなく、
人のために動くことが求められており、青
年はいま足を踏み出している。

労働者派遣法に反対したのは日本共
産党だけ。想像力があつたのはこの政党
だけ。三つの破壊に抗して働く者の苦し
みにとことん寄りそう政党は日本共産党し
かない。



《働く若者の理想と現実》話し合う 「今を変えよう」との勇気が

馬橋支部と松戸青年支部が1月26日共催した懇
談会には40人が参加。浅尾大輔さん(全労連専従、
首都圏青年ユニオンにかかわる)が講演しました。
その後、青年の雇用と労働の現状の変革について
懇談。現状を少しでも変えようとする若者の熱気
と、そんな若者を応援しようとする年長者の熱気
ごみが会場にはみなぎりしました。

たところを、2年2カ
月で解雇された。《15万
円の仕事をしていない》
と言われた」「青年
ユニオンのたたかい
を知って、自分も団
交ができるのではな
いかと思った。8時
間働いているのに休
憩は30分しかなかっ
た」「松戸にも青年
ユニオンをつくりた
い」と次々と若者が
発言。中高年の参加



者は「青年の労働の実
態に愕然とした」と述
べました。

頑張れ！ ★存亡の危機に直面★ ニューフィル千葉



●楽団員の給与を35%カット 請負契約で「月5万円」の出来高払い

さらに県は、経営難を口実に35%もの賃金カットを実施。医療・福祉や教育だけでなく、県民の心に豊かさをもたらす文化まで、リストラなど許せません。

また、雇用関係も破棄し、請負契約で「月5万円」の出来高払いを要求してきたのです。

●「《不安だと、いい音が出ないんです》との楽団員の声に胸が痛みます」とみわ県議

みわ県議は、「ニューフィル千葉の楽団員の代表らと先日懇談しました。『月5万円の出来高払いで、生活が不安だと、いい音が出ないんです』とおっしゃったことが、心に突き刺さりました。

…を理解できない行政は、変えましょう。

ニューフィル千葉は子どもたちや県民の宝です」と語っています。

文化や音楽とは何なのか

千葉の

日本音楽家ユニオン千葉ニューフィル発行のパンフレット「県民だれもが心の豊かさを」から一部を紹介させていただきます。

生の演奏に——少年少女の輝く瞳

- こんなに身近にオーケストラが聴けるのは素晴らしい体験。できることなら毎年やってほしい。
(袖ヶ浦市、中学校教諭)
- 鑑賞教室を生徒一同楽しみにしていた。その結果であろう、今年度初めて欠席者ゼロの日となった。心の病を抱えている生徒が食い入るように聴いていた。音楽がどれだけ大事なものを改めて認識できた。
(八千代市、小学校教諭)
- 生徒たちにさらなる感動を与えるために、もっと大きな

- 編成でやってほしい。補助金ももっとあればできるのだが…。
(千葉市、中学校教諭)
- 音楽の授業数が少ない今、鑑賞教室は非常に効果的。絶対になくさないでほしい。
(市原市、中学校教諭)
- こんなに素晴らしい機会が無くなってしまふなんてとんでもない！ 芸術文化は子供たちの成長に欠かせないもの。今後も続けてほしい。
(館山市、養護学校教諭)

●日本一小さな、15人の楽団に今、何が……

ニューフィル千葉（理事長＝堂本暁子知事）は1985年に財団法人として創立。日本一小さな15人の楽団です。が、子どもたちや県民と共に、22年間歩んできました。

ところが、この間知事が補助金を減らし、音楽鑑賞教室の予算も激減。楽団は大打撃を受けました。

音楽の灯を消さないで！文化を守ろう

知事の補助金カットは許しません

